

第 29 回日本内視鏡外科学会（29th JSES）のご案内

第 29 回日本内視鏡外科学会総会を下記のとおり開催いたします。
会員の皆様には多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

第 29 回日本内視鏡外科学会総会
会長 渡邊 昌彦

会 期：2016 年 12 月 8 日（木）～10 日（土）

会 場：パシフィコ横浜
〒 220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1

会 長：渡邊 昌彦（北里大学医学部外科 教授）

総会テーマ：“自我作古” Be the First. Make History.

今回の総会テーマは、「自我作古」としました。この言葉は「我より古（いにしえ）を作（な）す」と訓み、中国の『宋史』に見られる用語であります。これから自分なさんとする事は前人未到の新しい分野であるけれども、予想される困難や試練に耐えて開拓に当たるといふ、勇気と使命感を示した言葉であります。

近年、内視鏡外科手術は、一般的な手術手技として認知され、日常の臨床の場でも広く行われております。しかし、難易度の高い内視鏡外科手術は、依然、限られた施設のみで実施されているのが現状です。今回の総会では、日本の内視鏡外科手術が世界最高レベルの内視鏡外科医療として発展を遂げ、多くの患者により良い医療が提供できる大きな可能性もたらされるよう追求して参ります。

会員懇親会

日時：2016 年 12 月 9 日（金）19:30～（予定）
場所：大さん橋ホール

医工連携に関心のある企業や工学部の方々が集まり、医工連携セッションを開催するとともに、ブースを開設してシーズを展示し、ガイド付きのブースツアーも実施します。会員の先生方もぜひご参加ください。

日程：12 月 8 日（木）～10 日（土）
会場：パシフィコ横浜 展示ホール B

プログラム（予定）：

■会長講演

渡邊 昌彦（北里大学医学部外科）

■国際名誉会員

Han-Kwang Yang (Seoul National University Hospital, Republic of Korea)

Jeffrey L. Ponsky (Cleveland Clinic Foundation, USA)

Vitoon Chinswangwatanakul (Siriraj Hospital, Mahidol University, Thailand)

※アルファベット順

■特別講演

大村 智（北里大学特別荣誉教授）

■特別企画

- ・ Shall we ESI Endoscopic Surgery を Ecologic Surgery へ
～ラパロ，開腹，ロボット なにが早くて安くて上手いか～
- ・ こだわりの手術手技 ～出血はしない，させない，ひろげない～（領域横断）
- ・ 内視鏡外科技術認定医への道 ～その先に求められるもの～（領域横断）
- ・ 成人外科医の術式，小児外科医の術式
～先天性胆道拡張症腹腔鏡下手術，腹腔鏡下脾摘出術，腹腔鏡下大腸全摘除術～
- ・ エキスパートの手術
～エキスパート，名人の流儀：オムニバス形式によるエキスパートビデオ供覧～
- ・ COOL JSES・医工連携 ～内視鏡外科手術に革新をもたらす新技術～
- ・ 外科学のルーツを探る！

■ SAGES/JSES Joint Symposium

1. Daniel J Scott (University of Texas Southwestern Medical Center, USA)

2. Jeffrey Marks (University Hospitals Case Medical Center, USA)

Natsuya Katada (Toho University Ohashi Medical Center, Japan)

3. Adnan Alseidi (Virginia Mason Medical Center, USA)

Go Wakabayashi (Ageo Central General Hospital, Japan)

4. Dimitrios Stefanidis (Indiana University, USA)

Yusuke Kinugasa (Shizuoka Cancer Center Hospital, Japan)

司会：

Daniel J Scott (University of Texas Southwestern Medical Center, USA)

Go Wakabayashi (Ageo Central General Hospital, Japan)

■海外招請演者

Giovanni Dapri (Saint-Pierre University Hospital, Belgium)

Jeffrey W. Milsom (Weill Cornell Medical College/New York Presbyterian Hospital, USA)

Les Bokey	(University of Western Sydney, Australia)
Martin R. Weiser	(Memorial Sloan Kettering Cancer Center New York, USA)
René Horsleben Petersen	(Copenhagen University Hospital)
Seon-Hahn Kim	(Korea University Hospital, Republic of Korea)
Woo Jin Hyung	(Yonsei University College of Medicine, Republic of Korea)

※アルファベット順

■シンポジウム

- ・胸部食道癌の胸腔鏡下手術
- ・エビデンスからみた胃癌に対する腹腔鏡下幽門側胃切除術
- ・結腸癌に対する腹腔鏡下手術
- ・直腸癌に対する腹腔鏡下手術
- ・安全確実な腹腔鏡下肝切除に必要な知識と技術
- ・安全確実な腹腔鏡下脾切除に必要な知識と技術
- ・小児胃食道逆流症に対する腹腔鏡下手術
- ・高難度小児内視鏡外科手術の技術の伝承 ～限られた症例の中での次世代への教育～
- ・肺癌に対する胸腔鏡下手術
- ・子宮体癌に対する腹腔鏡下手術
- ・前立腺全摘除術に対する内視鏡下手術
- ・内視鏡を用いた心臓手術の現状と展望
- ・脊椎内視鏡外科の現状
- ・腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術に必要な知識と技術
- ・チームで守るセーフティーマネジメント

■パネルディスカッション

- ・胸腔鏡下食道癌手術 ～体位・気胸・デバイスを巡って～
- ・腹腔鏡下胃全摘後の再建法とD2郭清手技
- ・腹腔鏡下幽門側胃切除の郭清法（アプローチ）、吻合法
- ・進行結腸癌 ～私ならこう攻める～
- ・開腹から学ぶ局所進行直腸癌に対する内視鏡外科の挑戦
- ・難易度の高い症例に対する腹腔鏡下肝切除のアプローチ
- ・機能温存腹腔鏡下脾切除術の定型化に向けた取り組み
- ・総胆管結石 あなたならどうする？
- ・先天性食道閉鎖症内視鏡下手術
- ・呼吸器外科領域における内視鏡外科技術認定制度は可能か？
- ・腹腔鏡下子宮全摘除術の定型化と標準化
- ・前立腺癌のアプローチ別、郭清手技、短期・長期成績、コスト
- ・腎部分切除術のアプローチ
- ・腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術は果たして王道となり得るのか？

■ワークショップ

- ・ 反回神経麻痺を起こさせない工夫と治療成績
- ・ 進行食道胃接合部腺癌（Siewert type II）に対する郭清手技
- ・ 胃癌に対する Reduced Port Surgery の現状と工夫
- ・ ロボット支援胃癌手術 ～安全な導入にむけて～
- ・ 肥満・糖尿病に対する内視鏡下手術の現状と展望
- ・ 直腸癌手術に対する新しい手術手技 ～TAMIS, ISR～
- ・ 大腸疾患において Reduced Port Surgery は標準治療となるのか？
- ・ 炎症性腸疾患に対する腹腔鏡下手術の挑戦
- ・ 大腸浸潤癌に対する合併切除・再建
- ・ 結腸腹腔内吻合の是非を問う
- ・ 再発大腸癌に対する腹腔鏡下手術の挑戦
- ・ 進行横行・下行結腸癌に対する腹腔鏡下手術の標準化
- ・ 下部進行直腸癌に対する腹腔鏡下側方リンパ節郭清のコツ
- ・ 腸閉塞に対する腹腔鏡下手術の適応と限界
- ・ 腹腔鏡下肝切除における手技・デバイスの工夫
- ・ 新たに保険収載された高難度肝胆膵手術の取組み
- ・ 腹腔鏡下尾側膵切除における術野展開の工夫
- ・ 小児内視鏡外科手術におけるナビゲーション・シミュレーション
- ・ 内視鏡下乳腺手術の現況
- ・ 呼吸器低侵襲手術支援のための新しい技術
- ・ 触知困難肺病変の手術の工夫
- ・ 縦隔腫瘍に対する胸腔鏡下手術
- ・ 肺癌のリンパ節郭清の精度向上に向けての工夫
- ・ 完全内視鏡下での肺区域切除
- ・ 子宮頸がんに対する腹腔鏡下手術の現況と将来展望
- ・ 深部子宮内膜症に対する治療戦略
- ・ 腹腔鏡下・ロボット支援下骨盤外科の新しい試み ～膀胱全摘と婦人科悪性腫瘍～
- ・ 骨盤臓器脱に対する腹腔鏡下手術 ～手技と成績～
- ・ 腹腔鏡下子宮筋腫核出術 ～各施設の工夫～
- ・ 腹腔鏡下仙骨腔固定術の工夫
- ・ 泌尿器科領域における単孔式手術ならびに Reduced Port Surgery の進化
- ・ 副腎腫瘍はどのように治療すべきか？
- ・ 椎間孔狭窄症に対する内視鏡下手術
- ・ 腹腔鏡下腹壁癒着ヘルニア修復術の定型化に向けた取り組み
- ・ 早くて安くて上手い内視鏡外科 ～メディカルスタッフの役割～
- ・ 脊椎内視鏡下手術・技術認定医取得のためのワークショップ

■要望演題

- ・ 非胸腔アプローチを用いた食道切除術
- ・ 早期胃癌に対する機能温存手術のメリットとデメリット

- ・早期胃癌に対する噴門側胃切除術のメリットとデメリット
- ・上部消化管良性疾患に対する内視鏡下手術の工夫
- ・スリープ状胃切除術の手技とピットフォール
- ・上部消化管内視鏡下手術におけるナビゲーションの取り組み
- ・腹腔鏡下尾状葉切除のコツ
- ・市中病院における腹腔鏡下肝・膵手術 ～導入時の問題点と対策～
- ・手術困難例に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術のアプローチ
- ・腹腔鏡下総胆管結石手術の定型化にむけた取り組みと成績
- ・胆道癌に対する腹腔鏡下手術の適応、有用性、今後の展望
- ・巨脾症例に対する腹腔鏡下脾臓摘出術の工夫
- ・腹腔鏡下肝胆膵手術とナビゲーション
- ・肝胆膵領域における Reduced Port Surgery の現状と展望
- ・小児内視鏡外科手術における反省 ～失敗例、合併症例から学ぶ～
- ・小児内視鏡外科手術における Reduced Port Surgery の現状と展望
- ・VATS lobectomy のトレーニング
- ・これからの婦人科内視鏡下手術教育
- ・小児泌尿器科疾患に対する腹腔鏡下手術
- ・腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術における手技・デバイスの工夫
- ・腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術困難症例への取り組み
- ・巨大腹壁癒痕ヘルニアに対する腹腔鏡下手術
- ・救急医療における内視鏡外科
- ・多数回開腹手術例（Difficult Abdomen）に対する腹腔鏡下手術 ～How I Do it?～
- ・骨盤内手術においては、高画質 2D か 3D か？
- ・こだわりの手術手技 ～出血はしない、させない、ひろげない～（各領域）
- ・エネルギーデバイスの新しいトリセツ（各領域）

※ホームページにて随時情報を更新いたします。

問合せ先：第 29 回日本内視鏡外科学会総会 事務局

事務局長：隈元 雄介

北里大学医学部外科

〒 252-0374 神奈川県相模原市南区北里 1-15-1

TEL：042-778-8111

FAX：042-778-9556

第 29 回日本内視鏡外科学会総会 準備室

日本コンベンションサービス株式会社内

〒 100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 14 階

Tel：03-3508-1214 Fax：03-3508-1302

E-mail：jses 29 @convention.co.jp